

「尊厳と人権の哲学的・倫理的探究」

VOL.1

日時：2025年9月17日（金）

13:00～17:00

参加費無料

ハイブリッド形式

(オンライン参加は要事前登録)

対面会場：慶應義塾大学三田キャンパス

南館地下1階 2B11教室

[HTTPS://WWW.KEIO.AC.JP/JA/MAPS/MITA.HTML](https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html)

対象：研究者・学生（慶應義塾大学外の方もご参加いただけます）

<プログラム>

13:00～ 神島裕子「アリストテレス派の動物の尊厳論
—ヌスバウムを中心に—」

司会：杉本俊介（慶應義塾大学）

15:00～ 土橋茂樹「ペルソナ概念の起源と展開
—「かけがえのない自立した個人」の尊厳と自由—」

司会：山内志朗（慶應義塾大学名誉教授）



<登壇者略歴>

神島裕子

立命館大学総合心理学部教授。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士（学術）。

専門は正義論とケイパビリティ・アプローチ。

著書に『正義とは何か—現代政治哲学の6つの視点』（中公新書）、『ポスト・ロールズの正義論—ポッグ・セン・ヌスバウム』（ミネルヴァ書房）、『マーサ・ヌスバウム—人間性涵養の哲学』（中公選書）など。

土橋茂樹

中央大学文学部名誉教授、慶應義塾大学言語文化研究所兼任所員。上智大学大学院哲学研究科博士課程単位取得退学。

専門は古代中世哲学、倫理学、教父学。

著書に『善く生きることの地平—プラトン・アリストテレス哲学論集』（知泉書館、2016年）、『教父と哲学—ギリシア教父哲学論集』（知泉書館、2019年）、『存在論の再検討』（編著、月曜社、2020年）、『教父哲学で読み解くキリスト教』（教文館、2023年）、『三位一体—父・子・聖霊をめぐるキリスト教の謎』（中公新書、2025年）など。



オンライン参加登録はこちらから（登録締め切り：9月16日（木））

https://keio-univ.zoom.us/meeting/register/BwSO9p3wR6qNziXgK_Fyxg

主催：慶應義塾大学X Dignityセンター
（「尊厳と人権の哲学的・倫理的探究」サブユニット）

